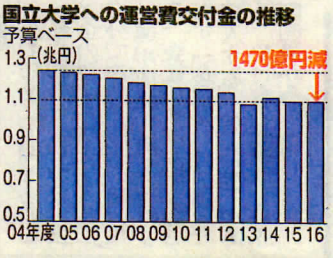


地方の国立大 教員雇用 に寒風

時時刻刻

国立大学で教員の人件費を削減する動きが加速している。40歳未満の若手教員のうち、5年程度の「任期つき」教員が6割を超えたことも明らかになった。国からのお金が減る中、教員の雇用や昇任も脅かされつつあり、特に、地方の大学からは悲鳴が上がる。



エルムの森だより 北海道大学教員組合執行委員会ブログ

北大で教授205名分の人件費削減を提案

大変な事態が起きました
北大の教育研究はどうなるのでしょうか
大変心配です

プロフィール
id:eim-mori
北海道大学教員組合ブログ

北海道大 人件費55億円 削減案 高知大 採用・昇任2年間凍結

「北大でこの惨状」「博士号取得者の受け入れ先がなくなり、日本から優秀な人材が逃げる」……。9月、ツイッター上で、あるブログを引用したつづやきが拡散された。北大教職員組合執行委員会が「激震! 教授205名分の人件費削減を提案」と伝えたブログだ。8月下旬の学内の会議で、大学側が示した内容だという。

北大は「案を示したのは事実だが、検討段階なので答えられない」とする。だが、学内資料や複数の教員によると、当初の削減案では2017年度から5年間で人件費を14.4%、総額55億円削減するとされ、削減幅は17年度が最大の9.9%。

北大は各部署に配分された「人件費ポイント」に基づき、教授(1・0億)や准教授(0・8億)などの教員を雇用する。当初の削減案では、大学は「205名分の人件費削減を提案」と伝えたブログだ。8月下旬の学内の会議で、大学側が示した内容だという。

国なお改革要求 ■「任期つき」耐える現場

だが、国立大を見る目は厳しい。今月11日、税金の使い方を検証する政府の行政事業レビューでは、国立大をめぐる厳しい言葉が飛び交った。事業を検証する有識者

「追加で補助金をもらえなければ、若手のポストを確保できないというのは説明がつかない。何をやってきたのか」
文科科学省「組織改革は大幅に進んでいる」
山本幸三・行政改革相

「学長は教授をクビにできるのか。企業経営的な運営ができていない」
国の財政難の中で運営費交付金が削られる半面、文科省は「改革に積極的に取り組む大学を強力に支援することによって、大学教育

の充実を図っていく」として、改革を進める大学には別の補助金を出し、メリハリをつけようとしている。千葉大の徳久剛史学長は「交付金の減額に耐えられらるかどうかが、各国立大は試されている」とみる。

なく、新規採用はしない。教員がいなくなる講座では、退職後の教授がシニアとして教え続けたり、他の教員が兼任したりする予定だ。それでも財務状況が改善する見通しはなく、さらに教授25人分の人員削減が必要。高知大教職員組合の原崎道彦教授は「昇任もなければ、若手の士気も下がる」と心配する。

高知大では現在、教員1人あたりの自由な研究費も年額11万3千円にとどまっているが、箱田規雄理事は「保護者の所得を考えると学費の値上げもできない」。今でも授業料を払えずに休学する学生が年間数千に上るからだ。「地方では寄付も集まりにくい。これ以上交付金の削減を止めてほしい」と話す。

86の国立大でつくる国立大学協会が15年秋に行った調査では、「定年退職者の補充をしない」など、人件費の削減策を「すでに実施」「今後実施」という大学は33にのぼった。

今年度からは教員採用の仕組みを変えた。退職者のポストを原則3年間、補充せず、各部署は学長をトップとする教員人事調整委員会に申請し、「機能強化に意味がある」と判断されれば雇用できる。徳久学長は「交付金削減を逆手に取って変わってきたい」と話す。

「追加で補助金をもらえなければ、若手のポストを確保できないというのは説明がつかない。何をやってきたのか」
文科科学省「組織改革は大幅に進んでいる」
山本幸三・行政改革相

「学長は教授をクビにできるのか。企業経営的な運営ができていない」
国の財政難の中で運営費交付金が削られる半面、文科省は「改革に積極的に取り組む大学を強力に支援することによって、大学教育

の充実を図っていく」として、改革を進める大学には別の補助金を出し、メリハリをつけようとしている。千葉大の徳久剛史学長は「交付金の減額に耐えられらるかどうかが、各国立大は試されている」とみる。

④予算不足で照明の交換ができないうち高知大の教室。少し暗く感じた。壁の塗装は一部がはがれ、カーテンも古びていた
⑤SNS上で話題になった北海道大学教職員組合のブログの画面

東大名誉教授で東京理科大学長の藤嶋昭さんの話 日本の高等教育への公費負担はOECD(経済協力開発機構)諸国の中でも最低水準で、国の経済規模に比べて著しく低い。国の財政が厳しいのはわかるが、この状況を改善しない限り、日本の

公費負担 低水準 科学発展 望めぬ

科学技術の進歩や発展は望めぬと思ふ。
近年、定年退職者の再雇用や任期延長が増え、若手の雇用を奪っている面もある。大学が若手教員を雇い、研究や教育に専念できる環境を整えるべきだ。

(松本理恵子、杉原里美、水沢健一)